

# 敬老の日に合わせて長寿をお祝い

市内で 100 歳以上の人は 66 人

9月21日の「敬老の日」に合わせて、金子市長は今年度 100 歳を迎える古賀さん（大浜町）を訪問して長寿をお祝しました。

金子市長が「市内の数少ないご長寿。これからもずっと元気で長生きしてください」と声をかけ、祝状や祝金 3 万円、記念品などを手渡しました。毎日の晩酌とよく笑うことが元気の秘訣という古賀さんは「長生きしていたかいたが。たくさんお祝いをさせていただいて胸がいっぱい。一生忘れません」とうれしそうにお礼の言葉を述べました。

なお、市内で 100 歳以上の人は 66 人。そのうち、今年度 100 歳になる人は 26 人。最高齢は 107 歳の目野あさ子さん（百町）です。

【問】市福祉課高齢者福祉係（☎ 77・8516）



今年度 100 歳を迎える古賀さん（右）

みんなを守ろう。みんなですくすく。

# 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別をなくそう

■市内の新型コロナウイルス感染者数 (令和 2 年 9 月 30 日現在)	
男	14 人 (前月比 +1)
女	12 人 (+2)
計	26 人 (+3)

## 偏見や差別は感染拡大を助長

新型コロナウイルスの感染拡大で、感染者や濃厚接触者、医療従事者などへの誹謗中傷やいじめが全国で起こっています。また、差別などの人権侵害も報告されています。具体的には、電話や SNS による感染した個人や医療機関、学校への誹謗中傷です。学校を体調不良で欠席した生徒がからかわれるといった事例も報道されています。

こうした行動は、自分自身の感染を疑っていても、差別をおそれて受診をためらうことにつながります。結果的に感染が拡大するという負の連鎖を引き起こすのです。

## 確かな情報に基づいて冷静な行動を

誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。偏見や差別をせず、国や県、市が提供している確かな情報に基づいて冷静に行動してください。

【問】市健康づくり課健康係（☎ 77・8536）

## 1 人で悩まず相談を

法務省では、新型コロナウイルス感染症に関連する不当な偏見や差別、いじめなどの被害にあった人からの人権相談を無料で受け付けています。困った時は、1 人で悩まず、相談してください。

☐ みんなの人権 110 番

● 電話番号 0570・003・110

☐ 子どもの人権 110 番

● 電話番号 0120・007・110

☐ 女性の人権ホットライン

● 電話番号 0570・070・810

☐ 外国語人権相談ダイヤル

● 電話番号 0570・090・911

※いずれも、平日午前 9 時から午後 5 時まで対応しています。

# インフルエンザの予防接種を無料化

65 歳以上の高齢者などが対象、新型コロナウイルスとの同時流行に備えて早めの接種を

今年は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されています。同時流行すると、医療機関の負担が大きくなります。そのため県は、特に重症化リスクの高い高齢者を対象に、インフルエンザ予防接種の自己負担金を今年度に限り無料化します。

●接種期間 12 月末まで

●対象 市内在住で次の①②のどちらかに該当する人

①接種日当日に 65 歳以上の人

②接種日当日に 60 歳～64 歳の人で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障がいがある人、またはヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある人（身体障害者手帳 1 級程度、接種日に要持参）

※対象者で、生活保護世帯や市民税非課税世帯の人は、医療機関へ証明書（発行は無料）の提出が必要です。生活保護世帯の人は市生活支援課、市民税非課税世帯の人は市税務課で証明書を取得してください（いずれも大和・三橋市民サービス課で発行可）。

●接種料金 無料（今年度に限り）

●接種時に持ってくるもの 健康保険証

【問】市健康づくり課健康係（☎ 77・8536）

# コミュニティバスで会社や商品を PR しませんか

1 枚当たり 1 カ月 500 円から 2000 円とお手頃価格

市役所や福祉センター、病院など市内を巡回しているコミュニティバスに掲載する広告を募集しています。車両によって、運行するルートや掲載場所が異なります。詳しくは、市企画課へ問い合わせください。

●広告の種類と料金

種類	規格 (縦×横)	月額
車内側面	21 × 30 (cm)	500 円 / 1 台
車外側面	60 × 42 (cm)	2000 円 / 1 台

※上記以外の広告あり

●申込方法 申込用紙に必要事項を記入し、同課企画係に提出。申込用紙は同係で配布。

【問】同係（☎ 77・8423）



# 観光大使に歌手の吉田明未さんが就任

ソプラノ歌手の吉田明未さん（30 歳）が観光大使に就任しました。母が柳川市出身の吉田さんは、よく柳川市を訪れていたそうです。フェリス学院大学音楽学部声楽科卒業後、BS 日テレの「フォレスト」の一員として現在「BS・日本こころの歌」に出演中。コンサートなどで北原白秋作詞の歌を取り上げ、柳川の魅力を積極的に発信しています。市の観光大使は吉田さんで 28 人目。9 月 28 日、リモートで実施された就任式で吉田さんは、「水の流れる音や風の心地よさ、歴史ある建物など市の魅力を北原白秋の歌をおして伝えていきたい」と意気込みを語りました。

【問】市観光課観光推進係（☎ 77・8563）



リモートで行われた就任式では吉田さんが白秋作詞の「この道」を披露